

出前研修

～ 市町村等の独自研修をサポート！ ～

◆研修のねらい

この研修は、各団体に講師を派遣することにより、市町村等の職員へ研修の機会をより多く提供します。

また、自由度の高い研修科目設定や住民参加も可能とし、市町村等が独自性のある研修の企画・運営が行えるようサポートします。



※今年度に限り、要件を拡充し、新型コロナの影響で複数団体で共催出来ない場合に限り、単独開催での県内在住の外部専門講師を認めます。

◆支援内容

《費用》

外部専門講師の謝金・旅費は宮崎県市町村振興協会が負担します。

※ただし、研修終了後、講師を含めた意見交換会等を実施し、講師が延泊する必要がある場合は、延泊に伴う費用は各団体に負担していただきます。

※当協会の旅費規程にあてはまらない行程の旅費等については、各団体に負担していただく場合があります。

《派遣講師》

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| ①単独の団体に開催する場合 | 県職員、宮崎県市町村振興協会職員、県内在住外部専門講師 |
| ②複数の団体に共催する場合 | 外部専門講師、県職員、宮崎県市町村振興協会職員 |
| ③住民と団体が共同で開催する場合 | 外部専門講師、県職員、宮崎県市町村振興協会職員 |

※新型コロナの影響で複数団体に共催出来ない場合に限り、単独の団体での外部講師の派遣が可能です。その場合は県内在住の外部講師となります。

※③の場合、受講者数が20名以上で、そのうち1/3以上は住民（職員、嘱託・臨時職員は除く。）の参加が必要となります。NPO法人やまちづくり関係団体の参加なども可能です。

※市町村振興協会の職員による出前研修（令和3年度に在籍する職員で対応可能な研修）の科目は、『公務員倫理研修』、『接遇研修（初任者向け）』です。

◆令和2年度の実績

《外部専門講師の派遣による出前研修》

- ・生活習慣病重症化予防支援に関する研修（宮崎市及び県内市町村職員）
- ・SNSについて知っておくべきこと（宮崎市及び県内市町村職員）
- ・公務員の思考を変えるロジカルシンキング研修（都城市及び近隣市町村職員）
- ・行動経済学が自治体を変える！ナッジ理論研修（都城市及び近隣市町村職員）
- ・危機対応コミュニケーション研修（日向市及び近隣市町村職員）
- ・ハラスメント対応研修（日向市及び近隣市町村職員）

《振興協会職員の派遣による出前研修》

- ・接遇研修（小林市職員）
- ・公務員倫理研修（後期高齢者医療広域連合職員）

ひとつづくり助成金交付事業



【事業の目的】

市町村等における人材育成を支援するため、中央の研修機関に職員を派遣する市町村等に対して、費用の一部を助成します。

◆助成対象

【研修機関】

- ① 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）
- ② 全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）
- ③ 自治大学校
- ④ 国土交通大学校
- ⑤ 一般財団法人全国建設研修センター
- ⑥ 地方共同法人日本下水道事業団

【対象者】

市町村等の職員（特別職を除く）



◆助成内容

- ① 市町村職員中央研修所……………1名あたり40,000円
- ② 全国市町村国際文化研修所………1名あたり30,000円
- ③ 自治大学校……………自治大学校に納入した研修に要する経費に2/3を乗じて得た額(千円未満切捨て)
- ④ 国土交通大学校……………1名あたり40,000円
- ⑤ 全国建設研修センター……………1名あたり40,000円
- ⑥ 日本下水道事業団……………1名あたり40,000円
(但し、福岡会場は1人あたり20,000円)

各団体申請額を合算した申請総額が予算額を上回った場合は、予算額を各団体の申請額で按分した額となります。
(千円未満切捨て)

ひとつづくり助成金交付実績（市町村等別派遣者数）

団体	団体名	宮崎市	都城市	延岡市	日南市	小林市	日向市	串間市	西都市	えびの市	三股町	高原町	国富町	綾町	高鍋町	新富町	西米良村	木城町	川南町	都農町	門川町	諸塚村	椎葉村	美郷町	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	合計
平成30年度	①市町村アカデミー	5	9	5	2	2	4	2	4		2		5		4	1		1	2		5							53
	②国際文化アカデミー	11	4			1	3		4						8													31
	③自治大学校	5	3	2			3		1			1	4		1													20
	④国土交通大学校	6	1	1						1																		9
	⑤建設研修センター	8	9	1			1																					19
	⑥日本下水道事業団	12	1	1	5		2				2		1															24
	合計	47	27	10	7	3	13	2	10	0	4	1	10	0	13	1	0	1	2	0	5	0	0	0	0	0	0	156
令和元年度	①市町村アカデミー	11	7	6		2	3	3	3		2		2	1				2	2		2						46	
	②国際文化アカデミー	9	4	3	1		5								8			1	1		1						33	
	③自治大学校	6	3				1						2														12	
	④国土交通大学校	9	1	2																							12	
	⑤建設研修センター	8	7	1			1																				17	
	⑥日本下水道事業団	15	2	2	1		2				1																23	
	合計	58	24	14	2	2	12	3	3	0	3	0	4	1	8	0	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	143	
令和2年度	①市町村アカデミー	1																1									2	
	②国際文化アカデミー														1	2		1									4	
	③自治大学校	2											2														4	
	④国土交通大学校			1																							1	
	⑤建設研修センター		1																								1	
	⑥日本下水道事業団																										0	
	合計	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
	過去3年間の合計	108	52	25	9	5	25	5	13	0	7	1	16	1	22	3	0	6	5	0	8	0	0	0	0	0	311	

児童虐待防止セミナー

～市町村職員中央研修所「巡回アカデミー」～



◆こんな方におすすめ！

- ・子育て支援を担当する職員
- ・福祉に関わる職員 など

◆研修のねらい

児童虐待の発生数が増加する中、職員の専門的な対応スキルの向上は喫緊の課題です。

この研修では市町村に求められる役割や、児童虐待への初期対応、関係機関とのネットワークなどを市町村職員中央研修所のカリキュラムに沿って学びます。

職員の対応スキルの底上げと、顔の見える連携体制の構築を目的に研修を行います。

◆講師情報

未定
(講師の選定は市町村アカデミーが行います)

◆予定科目

- 1 児童虐待防止の初期対応
～アセスメントの実践（講義・演習）
- 2 子ども家庭支援と虐待防止
～市町村に求められる役割
- 3 児童を虐待から保護する法的仕組みと
裁判の動向
- 4 関係機関とのネットワーク
～医療機関の現場から～
- 5 関係機関とのネットワーク
～児童相談所の現場から～
- 6 課題演習

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00		12:00	13:00		16:30
1日目		開講式 オリエン テーション	児童虐待防止の初期対応					子ども家庭支援と虐待防止
2日目		児童を虐待から保護する法的仕組みと裁判の動向			休 憩			関係機関とのネットワーク ～医療機関の現場から
3日目		関係機関とのネットワーク ～児童相談所の現場から						課題演習

※スケジュールは予定のため、内容の変更もあります。

◆研修情報

- 対象者 受講を希望する職員
- 募集人員 35名
- 日程及び会場
令和3年9月28日(火)～9月30日(木)
自治会館3階大会議室

◆研修担当者より

市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）が毎年各地で実施している巡回アカデミーが、宮崎県で開催されます。

近年社会問題化している、児童虐待の防止を研修テーマにして、対応スキルや虐待防止に向けた連携などを、演習を通して深く学習します。普段、市町村アカデミーで行なっている充実した内容の研修を、旅費や業務の負担も少なく受講することができます。

子育て支援担当の方や福祉部門の方など、県内自治体職員が一同に会し、対応方法などをより専門的に学習、議論するまたとない機会です。今年度限りの研修ですので、是非多くの方に受講していただきたいです。

※昨年度実施予定でしたが、新型コロナの影響により今年度の開催となっております。